

中学校・高等学校向け

2022 年度版

「成年」になるということ

授業展開案（50 分）

 公益財団法人 生命保険文化センター

## 1. 学習のねらい

- ・成年になることにより、自分ひとりで契約が可能となる等、責任が伴うことを理解する
- ・実際に起きている契約に関するトラブル事例について学ぶ
- ・収入と支出のバランスを踏まえ、身の周りでリスクが発生した際にお金の面で困らないよう、リスクに備える一つの手段である民間保険について学ぶ

## 2. 授業の概要（50分）

概要	学習内容とねらい
導入 (15分)	1. 「成年」になる！？ ★成年になることによる変化、契約には責任が伴うことを理解する
展開① (7分)	2. トラブルに巻き込まれない ★契約に関する主なトラブルを知ることにより、トラブルを未然に防ぐことの重要性を理解する ★契約を取消すことができる方法として、クーリング・オフがあることを理解する
展開② (15分)	3. リスクに備える ★人生には様々なリスクが潜在していることを知るとともに、リスクに備える手段として、公的保障に加え、民間保険の存在を認識する ★生命保険をはじめとする民間保険を利用する際は、情報収集を行い、自分にとって必要な保険商品を慎重に選ぶことを認識する
まとめ (13分)	4. まとめ ★授業のふりかえりをする

## 3. 授業形式

- ・パワーポイントと生徒用ワークシートを用いた講義形式

## 4. 準備物

- ・生徒用ワークシート(WS)、パソコン(パワーポイントが使える環境のもの)、プロジェクター、スクリーン、筆記用具(生徒)

授業時間が50分以上の場合や、授業展開案(50分)の内容を**補足**したい場合は・・・

50分授業セット「成年」になるということ ※本教材



### 生命保険の契約にあたっての手引

生命保険の「契約にあたってのポイント」、「商品の選び方」、「契約時の留意点」、「保障内容の見直し方法と留意点」などを解説したものです。生命保険の契約の際に参考してください

<https://www.jili.or.jp/tebiki/index.html>



### 生命保険を知る・学ぶ

生命保険に関する知っておきたい基礎知識や、生命保険・年金・医療・介護・税金に関するQ&A、出版物などを通して、最新かつ適切な情報を届けします。

[https://www.jili.or.jp/knows\\_learns/](https://www.jili.or.jp/knows_learns/)



### ひと目でわかる生活設計情報

生活設計をたてるために必要な基本的な考え方やヒント・参考情報を分かりやすくまとめています。

<https://www.jili.or.jp/lifeplan/>



## 【図記号の説明】

○：スライドタイトル 【WS】ワークシート掲載

★：ポイント ★★★：重要ポイント (Q)：発問

## 5. 授業展開（詳細）

時間	内容	備考	スライド
導入 15分	<p>1. 「成年」になる！？</p> <p>○「成年年齢」って何？【WS】穴埋め</p> <p>★★2022年4月1日より成年年齢が18歳となったことを確認する</p> <p>○【例題】、【問題1】、【問題2】【WS】穴埋め</p> <p>★成年になると具体的に何が変わらるのか、クイズを使って紹介する</p>	<p>(Q) 2022年4月から、成年とされる年齢が引き下げられましたが、何歳から成年になるか知っていますか。</p> <p>(Q) クイズ○×形式</p>	<p>「成年」になると何が変わるの？ <b>2022年4月1日より成年年齢が18歳となりました。</b> 2022年4月1日、18歳、19歳、20歳の人が成年になりました。 ①親の同意を得なくても自分の意思で様々な契約ができる。 ②住む場所や進路等を自分の意思で決められる。</p>

【問題1】ローンを組む



自分でローンを組んで(お金を借りる)、車を購入することはできる？

or

【答え】 ○  
保護者の同意がなくてもお金を借りることができます。  
※返済能力を超える場合など、ローンの契約ができないことがありますので、注意が必要です。

【問題2】クレジットカードを作る



後払いを欲しいもの買えたり、お金を借りられるクレジットカードを作ることはできる？

or

【答え】 ○  
保護者の同意がなくても作成できます。  
※支払能力により、作成ができないことがありますので、注意が必要です。

【問題3】契約をする



化粧品の定期購入の契約をしました。この契約は取り消せる？

or

【答え】 ✗  
一度自分の意思で契約した後は一方的に契約を取り消すことはできません。  
※商品に欠陥があった場合はこの限りではありません。  
契約は「**法的責任を生じる約束**」です。自分と相手が合意すれば成立します。口約束でも契約は成立します。契約書や印鑑・サインは証拠を残すためのものです。

《参考スライド》①「お金を借りる」、②「お金を使う」

【参考1】お金を借りる



【参考2】お金を使う



○「未成年者取り消し」って何？

★「未成年者取り消し」について確認する

○まとめ (1. 「成年」になる！?)

【WS】穴埋め

★★★成年になった場合の主な変化として、①親など保護者の同意がなくても契約できる、②「未成年者取り消し」ができないなる、この2点について確認する

★★★成年になると、契約には責任が伴い、自立について意識することを理解させる

未成年者取り消しって何？

未成年者と比べて社会経験の少ない未成年者が不利益を感じないように、未成年者が親などの保護者(法定代理人)の同意を得ずして結約した場合、契約を取り消すことができます。  
未成年者(18歳未満)の場合は、未成年者の親(法定代理人)の同意を得て契約を締結する必要があります。

成年年齢が18歳になると…

18歳から未成年者取り消しができなくなります。

まとめ (1.「成年」になる！?)

①親など保護者の同意がなくても、自分でとりで様々な契約ができます。  
例えは、ローンでお金を借りたり、クレジットカードを作ったり、化粧品などを定期購入する、携帯電話を購入する、マシンを借りるなど

②未成年者取り消しができなくなります。

③「契約」は責任をともないます。

	<p>○グループワーク</p> <p>★成年になると、どんな点に注意して生活する必要があるか議論させる</p>		<p>考えてみよう</p> <p>これまでの学習を通して学んだように、成年になると色々な責任がともないますが、みんなはどんな点に注意する必要があると思いますか。</p>														
展開① 7分	<h2>2. 契約に関する消費者トラブル</h2> <h3>○トラブルに巻き込まれない①②</h3> <p>★契約に関する主なトラブルについて確認する</p>		<p>トラブルに巻き込まれない①</p> <p>トラブルは、未然に防ぐことが大切です。普段から一分、気を付けてましょう。</p> <p>・アカウントサービス 駅や街中などでお金をかけて、事務所や喫茶店などに連れて行き、商品などを買わせる販売行為。</p> <p>・アンドロイドスマートフォン 電話やメールなどで当たりました「正確はれました」といふ言葉、会う約束（アポイントメント）をとりつけよう出し、商品などを譲りわせる販売行為。</p> <p>トラブルに巻き込まれない②</p> <p>インターネットを利用して生じるトラブルもある。連絡すると、悪徳業者から貢献巧みに、金銭の支払を要求されます。</p> <p>・通話料金 インターネット等を利用して注文した際に、「商品が届かない」「注文品と違うもの届いた」「購入したお店と連絡が取れない」などのトラブル。</p> <p>困ったら相談しましょう</p> <p>困ったことになった…トラブルがあった…</p> <p>消費トラブル等の相談窓口の電話番号は188番(いわや)→ 身近な消費生活センターや消費生活相談窓口を案内してくれます。</p> <p>困ったときにできることを店舗やセンターなどに相談しましょう。</p> <p>「クーリング・オフって何?</p> <p>契約をする前には、慎重によく考えてから契約しましょう。</p> <p>クーリング・オフ(Cooling off)は、「頭を冷やして、考え方などという意味があります。一定の期間内でであれば、商品・サービス、販売方法によって、クーリング・オフができない場合があるので、契約前にしっかりと確認しておきましょう。</p> <p>まとめ(2.トラブルに巻き込まれない)</p> <p>①トラブルは、未然に防ぐことが大切です。</p> <p>②インターネットを利用して生じるトラブルにも気を付けてましょう。</p> <p>③契約をする前には、慎重によく考えてから契約しましょう。</p> <p>④申込みをめいひなと思ったときは、一定の期間内であれば、クーリング・オフを使うことができます。</p>														
展開② 15分	<h2>3. さまざまな契約を使ってリスクに備える</h2> <h3>○収入と支出のバランスを考える</h3> <p>★事例を使って将来の収入と支出の金額をイメージさせる</p>		<p>収入と支出のバランスを考える</p> <p>収入と支出によって家計は成り立ちます。お金の使い方を考えることが大切です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>収入</th> <th>支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与</td> <td>食費</td> </tr> <tr> <td>扶養料</td> <td>交通費</td> </tr> <tr> <td>扶助金</td> <td>娯楽費</td> </tr> <tr> <td>貯蓄</td> <td>旅費</td> </tr> <tr> <td>投資</td> <td>贈り物</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>贈り物</td> </tr> </tbody> </table>	収入	支出	給与	食費	扶養料	交通費	扶助金	娯楽費	貯蓄	旅費	投資	贈り物	その他	贈り物
収入	支出																
給与	食費																
扶養料	交通費																
扶助金	娯楽費																
貯蓄	旅費																
投資	贈り物																
その他	贈り物																
	<p>《参考スライド》</p> <p>③「働く目的について」、④「働き方について」</p>		<p>【参考③】働く目的について</p> <p>「働く目的」は、お金を稼ぐため、社会の一員として認めを果たすため、自分の才能や能力を発揮するためなど人それぞれ違います。自分自身の働く目的について考えてみましょう。</p> <p>【参考④】働き方について</p> <p>働き方には、正社員、派遣社員、パート、アルバイトなどがあります。また、就業時間も、フルタイム、リモートワーク、短時間など多岐にわたります。</p>														

## ○何が起こるか予測できない

★★★普段の生活の中でどんなリスクがあるかを想像させ、発生すると経済的な損失を被ることを認識させる



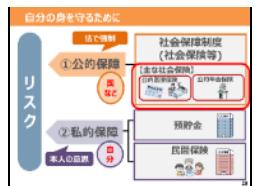
## ○リスクに直面した高校生の事例

★実際にリスクに直面したときに負う経済的な負担に対して備える必要性を認識させる



## ○自分の身を守るために【WS】穴埋め

★★★リスクに対する経済的な備えとして、公的保障、私的保障があることを説明する。



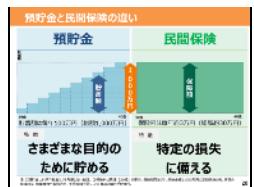
## ○民間保険で備えられるリスク

★生命保険や損害保険で身の周りにあるさまざまなものリスクに対して備えることができることを認識させる

民間保険で備えられるリスク	
生命保険	損害保険
・死亡 ・疾病 ・ケガ ・介護	・事故 ・火災 ・台風や地震

## ○預貯金と民間保険の違い

★リスクに備える手段として、預貯金と民間保険があることを認識させる。

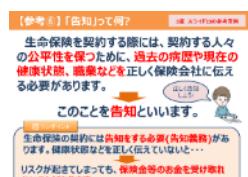


★預貯金と民間保険の特徴を説明し、理解させる。

## ○「生命保険」には契約が必要

★生命保険契約を例に、契約の流れを認識させる

《参考スライド》「告知」って何?」



## ○生命保険の種類

★生命保険商品の種類を紹介する



	<p>○「生命保険」にもクーリング・オフが使えます</p> <p>★生命保険にもクーリング・オフが使えることについて認識させる</p> <p>○まとめ</p> <p>★★★生命保険をはじめとする民間保険を利用する際は、情報収集を行い、自分にとって必要な保険商品を慎重に選ぶことを認識させる</p>	<p>【生命保険】にもクーリング・オフが使えます 〈生命保険の契約の場合〉</p>  <p>申し込みの取り消しができる期間は、<b>8日以内</b> 一般的に、クーリング・オフに関する商品を受け取った日から申込日のより少なくとも8日前までいる場合に限り、いつでも取り消し可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クーリング・オフを適用すると、<b>保険料はそのまま返却</b>されます。</li> <li>● 生命保険会社や保険代理店は8日以上の期間を設けています。</li> <li>● 契約において医療による差を受けた場合など、クーリング・オフができる場合もある。</li> </ul> <p>まとめ(ヨリひきを書く)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <b>定期保険</b>など、さまざまな契約を利用することで、リスクに備えることができます。</li> <li>② <b>情報収集</b>を行い、自分にとって必要な保険商品を慎重に選ぶことが大切です。契約する時は複数の会社・商品を比較してみましょう。</li> </ol>
まとめ 13分	<h2>4. まとめ</h2> <p>○まとめ【WS】穴埋め</p> <p>★★★成年になることにより、自分ひとりで契約が可能となり、責任が伴うことを理解させ、契約の際は内容をしっかりと確認し、慎重に契約することについて認識させる</p>	<p>まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <b>18歳</b>から、自分ひとりで契約できるかわりに、未成年を理由に契約は取り消せません。</li> <li>② トラブルなどで困ったときはひどいで悩まずに、<b>周りの人や専門家などに相談</b>しましょう。</li> <li>③ <b>定期保険</b>など、さまざまな契約を利用することで、リスクに備えることができます。</li> <li>④ 契約を含め、さまざまなことにお金がかかることが多い。<b>収入と支出のバランス</b>を考えることが大切です。</li> </ol> 

## 口監修

大藪 千穂（岐阜大学教育学部 教授）

## □2022年度版編集協力（50音順）（所属は2022年3月時点）

秋田 一早（大阪府立岸和田高等学校）

竜川 幸子（京都府立洛北高等学校）

池垣 陽子（埼玉県立蓮田松韻高等学校）

榎府 暉子（東京家政学院大学、法政大学 中学  
高等学校）

石坂 美樹（青山学院高等部）

新村 恭子（東京都立晴海総合高等学校）

内田 文子（東京都立三鷹中等教育学校）

三野 直子（東京都立竹早高等学校）

川邊 綾子（海城中学高等学校）

若月 温美（東葉高等学校）

小鎧 純子（園田学園高等学校）